

生命環境科学研究科地球環境科学専攻 学位論文（博士）審査基準

（審査体制）

入学後、学生は研究課題を定め、主指導教員と2名以上の副指導教員の指導のもと、課程修了までに研究中間発表、研究最終発表、研究公開発表を行い、また、当該テーマで学会（全国学会あるいは国際学会）発表を1回以上、行った後、原則として英語による博士論文を執筆する。審査制度の確立した学会誌に単著または共著筆頭の論文を1編（論文博士の場合は、3編）以上有することが、論文提出の必要条件となる。論文審査に関しては、主査、副査（3名以上）の論文審査委員会により研究内容（論文博士の場合は、学力も含む）が厳正に審査され、可否の判定を受ける。最終審査の結果合格となった学生に博士（理学）の学位を授与する。

（評価項目）

以下の5項目について、達成度評価を行う。

① 専門基礎

地球環境学の個別専門分野に関する十分な基礎能力を有していること。

② 関連分野基礎

個別専門分野に関連する分野についても、十分なレベルの基礎能力を有していること。

③ 現実問題の知識

現実の問題について、十分なセンス・見識を備えていること。

④ 問題設定から解決まで

専門的応用能力である問題設定から解決までのプロセスを理解し、具体的解決に導くことができること。

⑤ プレゼンテーション・コミュニケーション能力

研究成果に関するプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有していること。

（評価基準）

最終審査（公開発表、口頭試問、単位確認など）における達成度評価の基準としては、上記5項目に対し、博士（理学）の合格水準を超えることが必要となる。